



1 子ども用の帽子を買い求める来場者 2 太陽に照らされてキラキラと輝くハーバリウム 3 お店の人もはじける笑顔で接客 4 インスタグラム風のフレームに入り記念撮影



Valentine Girl's Festa



5 イヤリングも豊富。ここにしかないものばかり 6 リネン生地ワンピースなど、ナチュラル系の服が並ぶ 7 テントが広がり、にぎわうウッドデッキ



2月2日。多くの人がハンドメイド雑貨の店や各種体験を楽しんだ、ゆのまえ田園マルシェ「バレンタインガールズフェスタ」。ウッドデッキを活用した第1回のイベントがレールウイングで開かれました。

同マルシェは2月14日のバレンタインデーを前に、女性らに楽しんでもらい、女子力を磨いてもらおうと、住民らでつくる実行委員会が主催。人吉球磨郡市内や鹿児島県などから12店舗が出店し、テント内でハンドメイドの雑貨や洋服、インテリア小物、健康食など女性向けの商品を販売。ネイルや足つばマッサージ

ウッドデッキの活用がスタート

ちづくりをサポートする一般社団法人奥球磨スマートタウン研究所(横山正人代表理事)が町から指定管理を受けて運営。新たなスタートを切っています。

特集2 レールウイング

新しい駅前のかたち

1 昨年11月の漫画フェスタに合わせて除幕したモニュメント。老朽化で登れなかった2階も改修。スタッフに声をかけると昇れる 2 透明な壁は、プロジェクションマッピングやイラストの展示が可能。現在は漫画家4人の直筆イラストが展示されている



くま川鉄道の始発・終着点、湯前駅。線路を挟んで向かい側には、多目的イベント広場「レールウイング」があります。総延長は約290㍍で、ヒノキのウッドデッキが特徴。くま川鉄道の利用促進と駅周辺のにぎわいづくりのために、平成2年に建設され、これまで町内の祭りなどが行われてきました。

駅前の好立地を生かして大きなイベント以外でも活用し、集客を図ろうと、平成28年

6月から住民や関係者でワークショップを開催。レールウイング内に施設を集める目的で、昨年度までに「まんが図書館」「カフェ」「展示体験販売施設」の3棟を完成させました。まんが美術館側のモニユメントも改修し、内部にはトイレが新設されました。駅よこの、ふれあい交流センター「湯く」とびあも改修し、売り場面積が広がっています。

現在、施設全般は、ICT(情報通信技術)を活用し、ま

8 展示体験販売施設では気になる相手との相性占いも 9 色とりどりのネイルがずらり



ジ、メイクレッスン、相性占いなどもありました。

当日は天気もよく、午後から客足が伸び、ハーバリウム体験には、用意していた机が足りないほど人が殺到。訪れた女性たちは笑顔で楽しんでいました。夫婦そろって来場する人も多く、妻へプレゼントをするなど、パートナーへの日々の愛と感謝を込めていました。